

令和 6 (2024) 度流域モニタリング一斉調査結果 (西三河地域)

1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」(平成 19 (2007) 年 7 月作成) を活用したもので、平成 21 (2009) 年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

2 参加者の公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局(県環境局環境政策部水大気環境課)が令和 6 (2024) 年 3 月 27 日から参加者を公募しました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼し、34 の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表 1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	1 (2)	2 (1)	5 (3)	6 (7)	0 (0)	14 (13)
西三河地域	3 (3)	3 (3)	3 (1)	6 (6)	0 (0)	15 (13)
東三河地域	2 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)
合計	6 (7)	6 (5)	8 (4)	14 (15)	0 (0)	34 (31)

※ () 内は、令和 5 (2023) 年度の状況を示す。

< 参考 >

	広 報	ホーム ページ	チ ラ シ	複数 (広報+チラシ等)	そ の 他	合 計
令和 5 (2023) 年度	7 (3)	5 (3)	4 (1)	15 (6)	0 (0)	31 (13)
令和 4 (2022) 年度	7 (3)	7 (2)	2 (1)	13 (5)	0 (0)	29 (11)
令和 3 (2021) 年度	9 (4)	3 (1)	4 (1)	12 (4)	1 (0)	29 (10)

※ () 内は、西三河地域の状況を示す。

< 広報参考例 >



市政だよりおかざき 令和6年7月号

●流域モニタリング一斉調査の参加者
※市内在住の人(小学生以下は保護者同伴) 内6月5日(水)～9月30日(月)の調査可能な日に市内の身近な水辺で水質や生態系などを調査し報告 申・関8月21日(水)までに⑧、⑨か⑩で環境保全課(☎34・6628、⑩34・6684、✉k_hozen@city.toyota.aichi.jp) (HP1058274)



広報とよた 令和6年5月号

広報ひがしうら 令和6年5月号

3 参加者の実施状況

表2 実施状況

地域名	実施状況（令和6（2024）年度）			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	4（7）	40（45）	252（312）	50（60）
西三河地域	12（12）	56（59）	368（497）	185（195）
東三河地域	3（3）	4（3）	18（61）	7（7）
合計	19（22）	100（107）	638（870）	242（262）

※（ ）内は、令和5（2023）年度の状況を示す。

※前年度とも水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市・夏期）及び油ヶ淵流域水環境モニタリングを含み、伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）は含まず。

< 参考 >

	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
令和5（2023）年度	29（13）	136（64）	1,218（562）	342（199）
令和4（2022）年度	27（12）	127（62）	1,115（506）	340（203）
令和3（2021）年度	20（9）	114（48）	968（596）	358（232）
令和2（2020）年度	17（5）	103（38）	591（191）	180（45）
令和元（2019）年度	21（8）	121（51）	973（306）	220（91）
平成30（2018）年度	20（7）	104（44）	937（257）	160（47）
平成29（2017）年度	21（11）	108（45）	1,273（494）	196（80）
平成28（2016）年度	24（12）	122（52）	1,271（555）	196（87）
平成27（2015）年度	27（11）	127（55）	1,207（443）	213（106）
平成26（2014）年度	16（7）	120（67）	691（151）	146（82）

※（ ）内は、西三河地域の状況を示す。

※水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市・夏期）を含む。平成27（2015）年度以降は伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）、令和3（2021）年度以降は油ヶ淵流域水環境モニタリングを含む。

4 調査結果

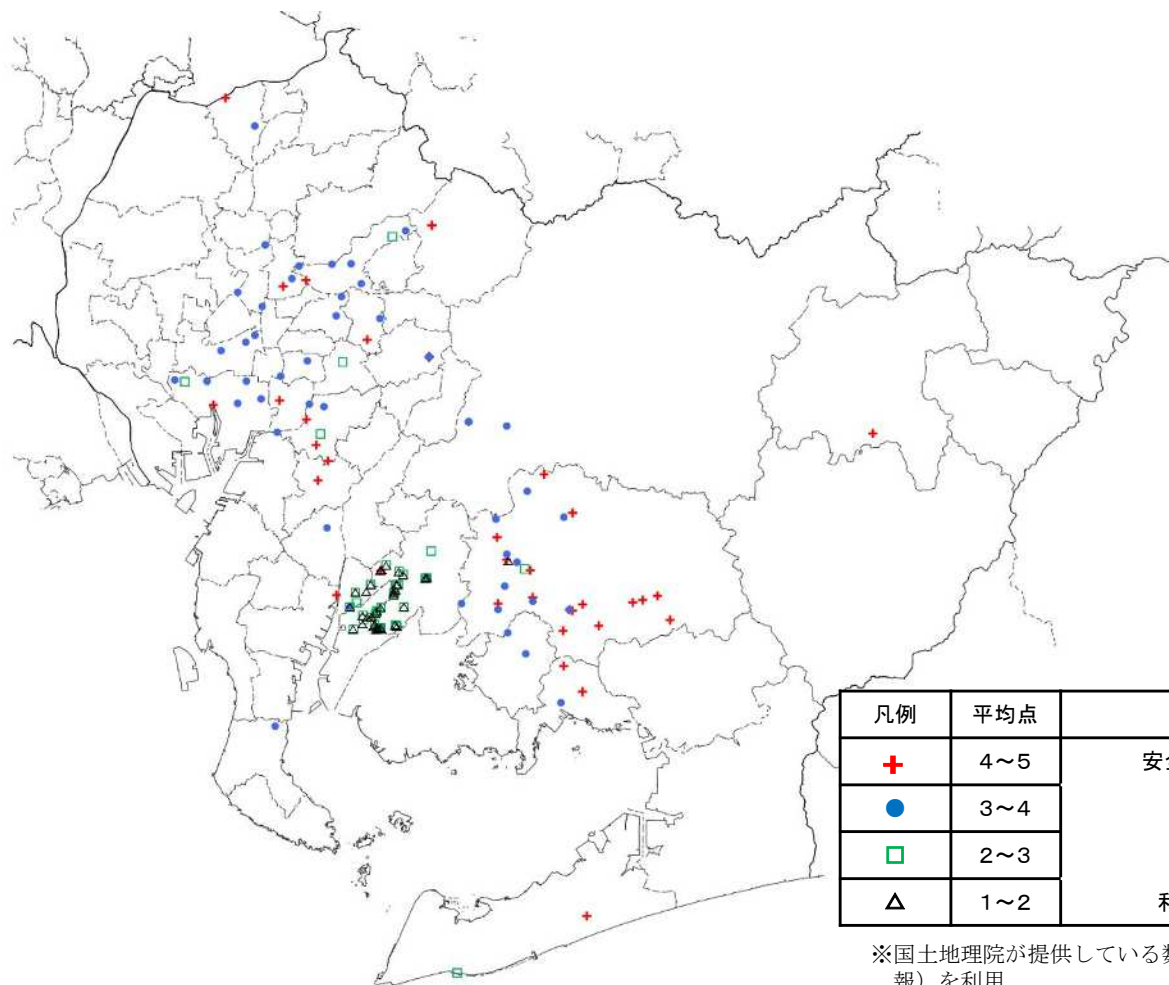
(流域別及び各調査地点の評価については別紙参照)

- 延べ参加人数は 638 人（昨年度比 27%増※）、延べ調査地点数は 242 地点（昨年度比 7%減※）でした。

尾張地域では、市町村数、参加団体数、延べ参加人数、延べ調査地点数すべてにおいて昨年度を下回る結果となりました。西三河地域では、参加団体数、延べ参加人数、延べ調査地点数が昨年度を下回る結果となりました。東三河地域では、参加団体数は昨年度を上回り、延べ参加人数は昨年度を下回る結果となりました。

※令和 6 年度の伊勢湾流域圏一斉モニタリング（国土交通省・中部地方整備局）の提供を現時点で受けられていないため、当該調査を含まない比較。

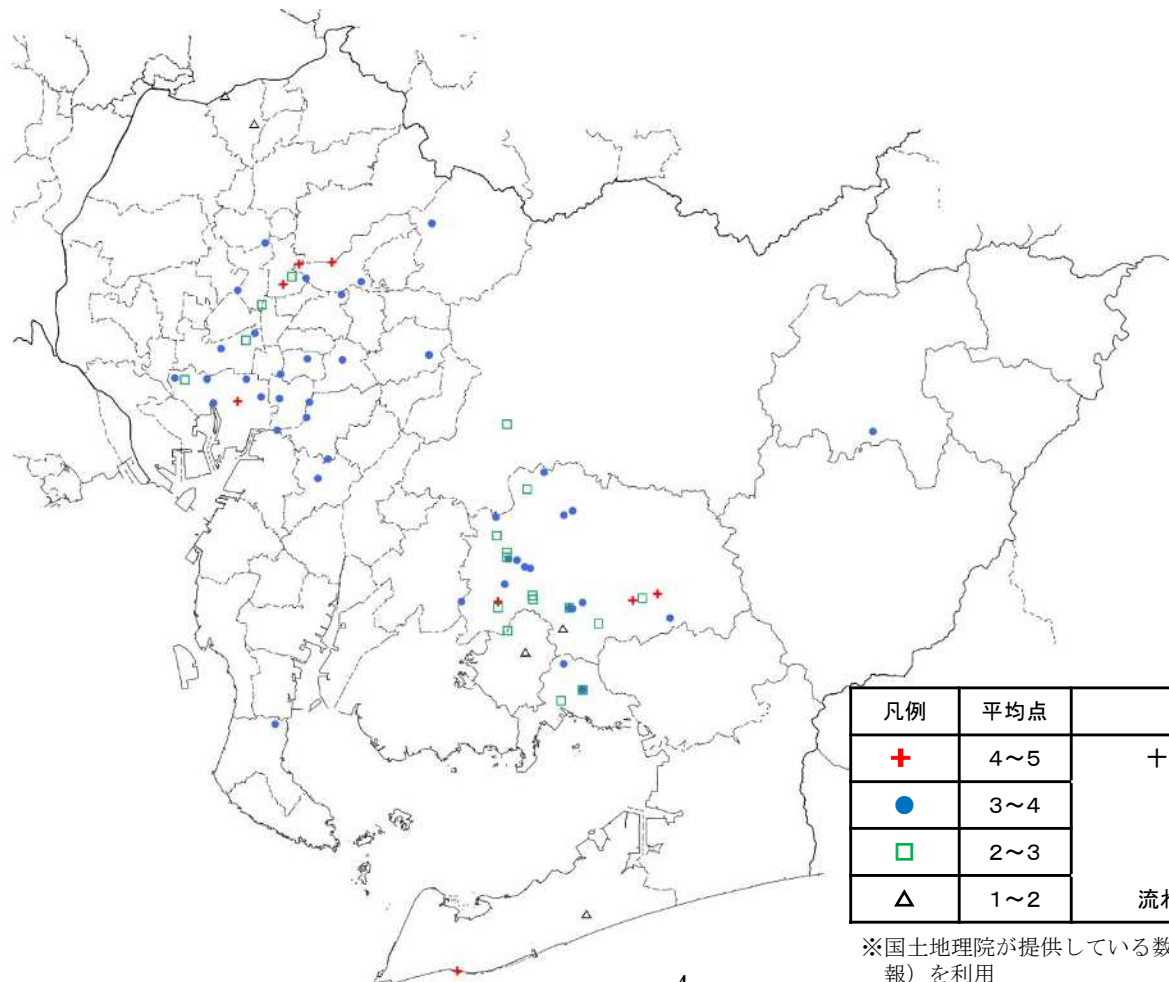
- 各地域の調査地点は、多くが河川の中下流部で実施された評価となっています。
 - ・ 尾 張 地 域：水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目について、木曽川・庄内川等流域は 2.9～3.9 点でバランスよく評価されています。日光川等流域及び天白川・山崎川等流域では、生態系がそれぞれ 2.0 点、2.2 点で、他項目と比較し低く評価されています。
伊勢湾沿岸域（知多半島等）では、昨年度同様、調査未実施でした。
 - ・ 西三河地域：水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目について、三河湾沿岸域（知多半島等）は 2.5～4.2 点、境川等流域は 2.8～3.8 点、矢作川等流域は 3.2～4.0 点で、それぞれバランス良く評価されています。
油ヶ淵等流域では、水質は 2.4 点、水辺は 2.9 点で、概ね昨年度と同様の結果となっており、水量及び生態系の 2 項目は評価の実施はありませんでした。
 - ・ 東三河地域：当地域の豊川・天竜川等流域、三河湾沿岸域（豊川・蒲郡）及び三河湾・外海沿岸域（渥美半島等）では、水質、水量、生態系及び水辺の 4 項目が 3.1～4.7 点とバランス良く、また他の地域と比較し高く評価されています。特に、水質は 3.5～4.7 点で、昨年度同様、高い評点となっています。
- 今後とも、県域全体の評価がバランス良く行えるように、モニタリングの参加者の増加を目指します。



凡例	平均点	判定
+	4～5	安全できれいな水  利用しにくい水
●	3～4	
□	2～3	
Δ	1～2	

※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

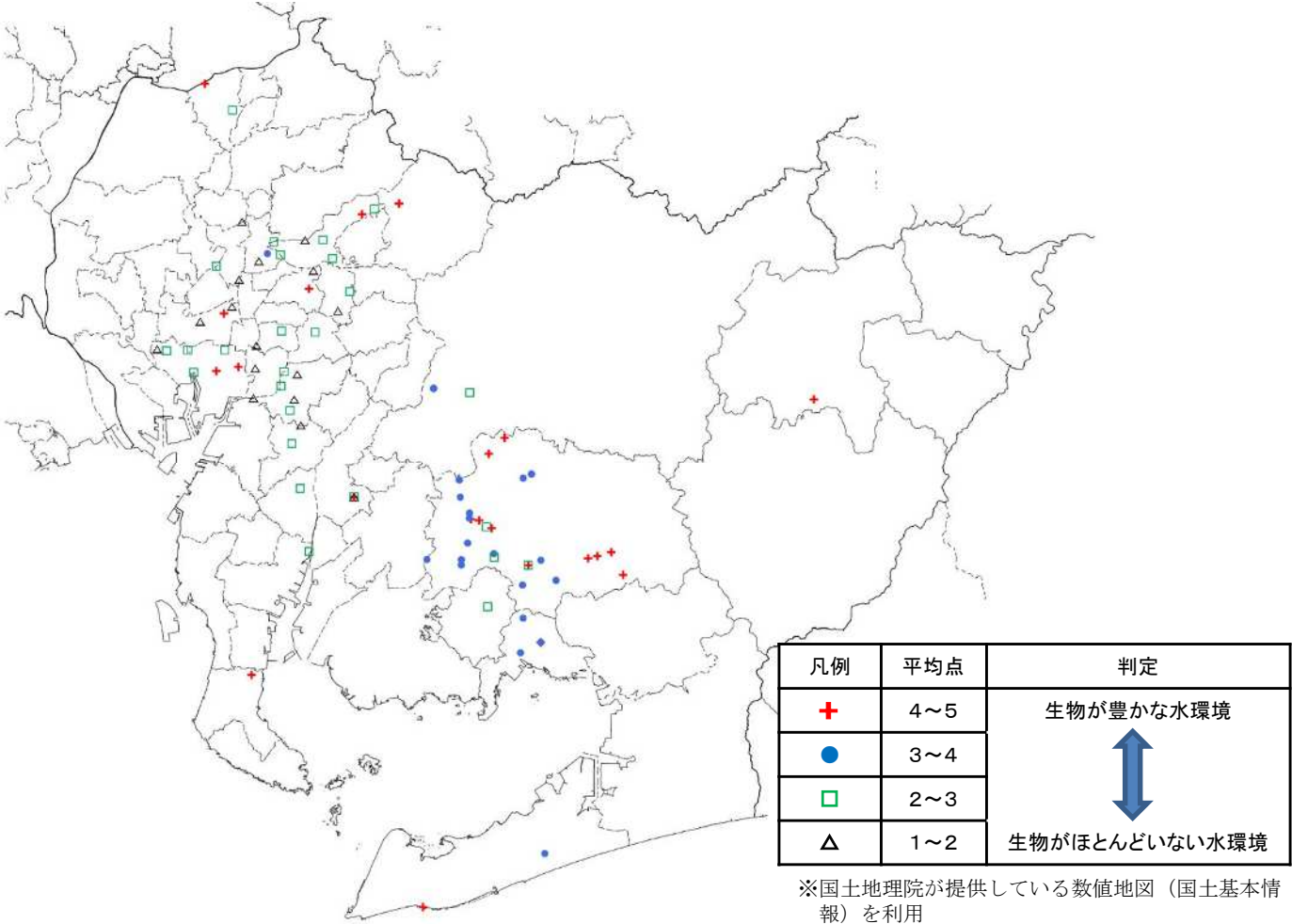
令和6（2024）流域モニタリング一斉調査結果（水量）



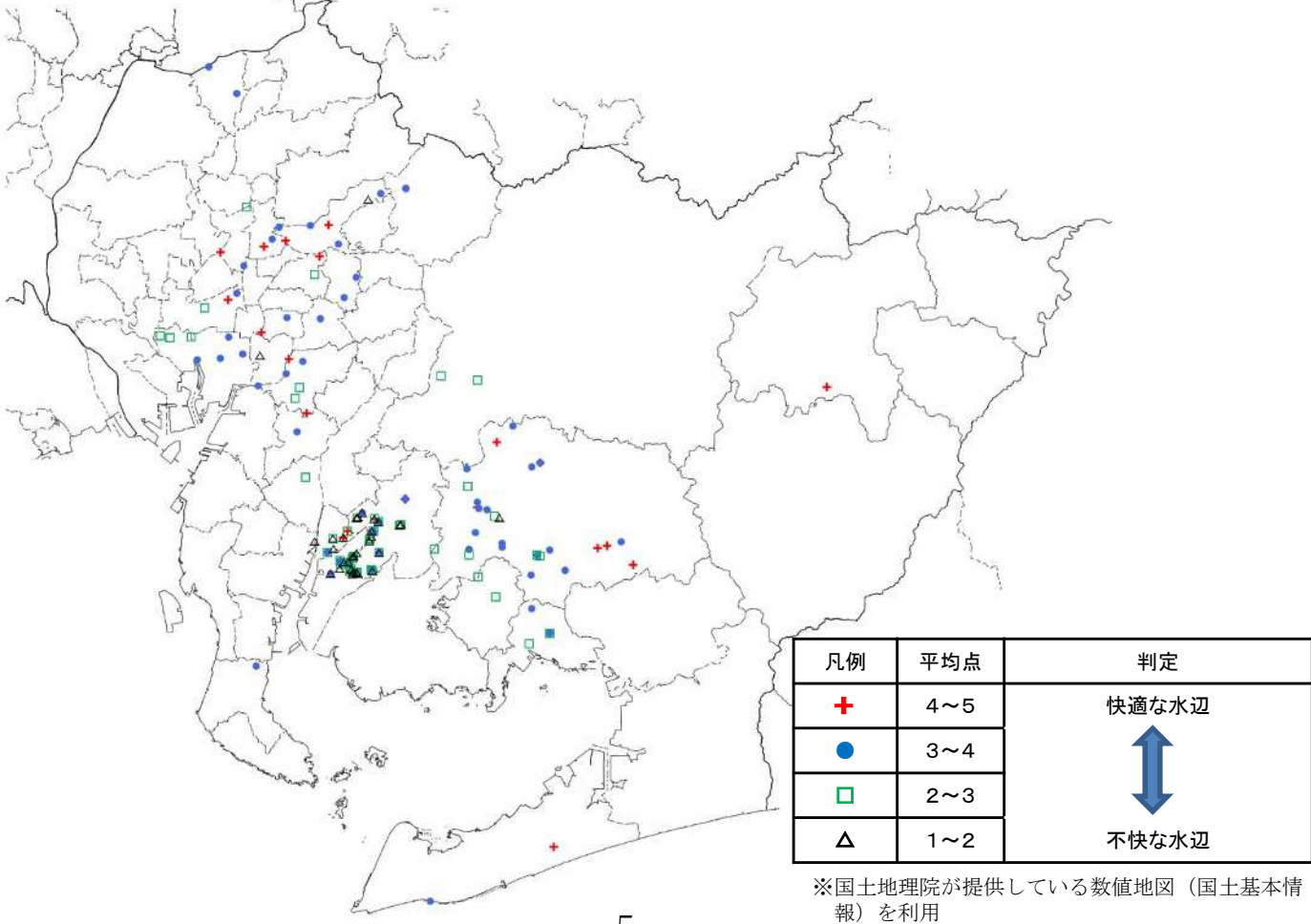
凡例	平均点	判定
+	4～5	十分な流れがある  流れがほとんどない
●	3～4	
□	2～3	
Δ	1～2	

※国土地理院が提供している数値地図（国土基本情報）を利用

令和6（2024）年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



令和6（2024）流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



令和6（2024）年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）

木曽川・庄内川等流域【27】



日光川等流域【2】



天白川・山崎川等流域【21】



境川等流域【10】



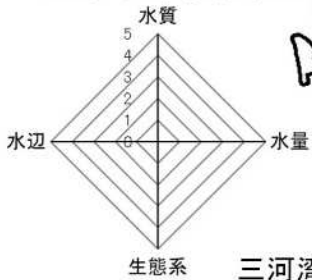
矢作川等流域【32】



油ヶ淵等流域【141】



伊勢湾沿岸域
(知多半島等)【0】※3



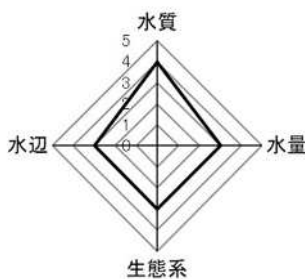
三河湾沿岸域
(豊川・蒲郡等)【4】



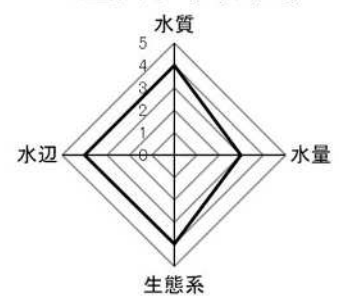
豊川・天竜川等流域【1】



三河湾沿岸域
(知多半島等)【2】



三河湾・外海沿岸域
(渥美半島等)【2】



- ※1 流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。
 ※2 油ヶ淵等流域の調査結果の水量及び生態系の調査はありませんでした。
 ※3 伊勢湾沿岸域（知多半島等）の調査はありませんでした。
 ※4 国土交通省中部地方整備局が実施した伊勢湾流域圏一斉モニタリングの調査結果は含まれていません。